



昔のあそび開催

一月二十三日(土)に今年度最後となる昔のあそび「段ボール織り機でコースターを作る」が開催されました。

今年度は新型コロナウイルス感染症防止の対策として消毒・検温と作業机にはアクリル板を設置しての開催となりました。

縦糸を段ボール織り機にかける工程からスタートし、その後、横糸を交互にかけていき参加者の皆さんは一時間程度で九センチ四方のコースターを織り上げていました。

参加者の皆さんからは「細かいのを作るのが好きなので楽しかった」

「ちよっと疲れたけど楽しかった」

報 夕鶴の里資料館

令和3年2月10日

第 122号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800



「興味があつて参加した。楽しかった。こういうもの(ダンボール)でも織り方が出来るのだなあと知った。家に帰ってからも作ってみたい」というような感想をいただきました。

今年度の昔のあそびは例年よりも多くの皆さんに参加いただき大盛況でした。是非また来年度も参加いただければと思います。

みなさん上手にできました！



啓翁桜

今年も漆山郵便局様より、啓翁桜をいただきました。ありがとうございます。花はようやく枝の先の方が咲き始めました。満開まではもう少しかかるようです。

企画展

夕鶴のひな飾り展

開催中



当館では二月二日(火)より企画展「夕鶴のひな飾り展」を開催しています。

山形の雛祭りの魅力は古い立派な雛が残っていることとありますが、人々が互いにこの家にも自由に入りに、雛を褒め挨拶を交わし、もてなし合うことだと思います。展示初日よりお客様から見るものが出来て良かったと感想をいただきました。ありがとうございます。

展示は五月九日(日)までです。三人の製作者の手によって作られたひな飾りを是非ご覧ください。

特別展示の

お知らせ

今回、九里学園高等学校様のご厚意により明治時代に作製されたちりめん細工をお貸しいただきました。明治三十七年に卒業された方が製作されたもので、創立初期の極めて厳しい教育を受けられたこともあり、極めて高い技術で製作されています。

復元された蟬のちりめん細工と併せてご覧頂ければと思います。



〈特別展示〉
九里裁縫女学校のちりめん細工
明治37年に九里裁縫女学校本科7歳を卒業された方のちりめん細工です。
創立者・九里とみが創立して教えた初期の極めて厳しい教育を受けた方の作品です。優れた裁縫技術をご覧ください。

日本の近代化

と雛人形

明治五年、新政府はそれまで使われていた曆を欧米にならって旧曆から太陽曆へ改めました。それに伴い、二月十一日の神武天皇即位日(紀元節)と十一月三日の明治天皇の誕生日(天長節)を五節句に代わって祝日と定めました。このような事情から曆が一ヶ月早まったため、東北では雛祭りを雪深い三月三日ではなく一ヶ月遅れの四月三日に祝いました。

この頃を境に節句行事は衰え、人形類も売れなくなっ
ていきます。明治十七年の新聞記事には

「唐木屋では、年々歳々売れなくなる故、今年は断然雛市を廃したとのことです」

という話を掲載しています。唐木屋は老舗の雛人形屋で、そのような店でさえ人形が売れないので今回の雛市への出店は見送ったということですから衰退ぶりがわかるかと思えます。

しかし、日清・日露戦争をきっかけに政府の西欧化推進が沈静化し、日本の文化を

見直すようになり雛人形は復興の兆しを見せます。今回展示している押絵雛の掛け軸もその頃に製作されたと考えられ、明治三年頃から流行したアニリン系の明るい発色の絵の具を使い、鮮やかに宮中の様子が描かれています。



押絵雛
当時流行した鮮やかな色彩が特徴

関東大震災以降の雛人形は雛段の人形と調度品をセットにして販売するのが主流となり、現代でも見られるような雛人形の規格化と大衆化が進みました。「夕鶴のひな飾り展」では様々な雛人形やひな飾りを展示しております。是非、ご覧いただければと思います。

〈引用・参考文献〉

『おひなさま』

『決定版日本の雛人形・江戸明治の雛と道具60選』

『日本服飾史』

『浮世絵の見方』